

入試 Q&A

Q

複数の学科や複数の入試種別を受験する場合、どのように出願すればよいですか？

A

出願書類:それぞれ必要(p.36参照)

出願方法:学科、入試種別ごとに「出願用封筒」に入れて送付

※同一学科の総合型選抜を複数回受験する場合—調査書・大学入学希望理由書の提出は、最初の出願時のみ

※同一学科の一般選抜前期、一般選抜中期、一般選抜後期、大学入学共通テスト利用入試(1次・2次)、大学入学共通テスト利用入試プラス自己PR型を複数回受験する場合—調査書の提出は最初の出願時のみ

※出願用封筒—…市販の角2封筒(240mm×332mm)に、入学志願票を印刷した際に出力される「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて使用してください。複数を出願する場合は、それぞれ学科・入試種別ごとに「出願用封筒」に入れて送付してください。

※入学志願票は、複数回受験する場合でも、入試種別ごとに必ず書留郵便にて出願してください。

Q

追加合格はありますか？

A

入学手続き者が入学定員に達していない場合、追加合格を行うことがあります。その場合、電話または速達郵便にて本人宛に通知します。なお追加合格についての問い合わせには一切お応えしていません。

Q

筆記試験について、選択科目は出願時にあらかじめ申し出る必要がありますか？

A

選択科目は事前の申し出は不要で、受験当日に問題を見て選択できます。科目間での有利、不利が起こらないように問題作成に配慮していますが、平均点に大きな差が生じた場合は得点調整を行います。

Q

総合型選抜の基礎力検査や一般選抜の記述式問題はどのような意図と形式で出題され、評価されるのですか？

A

総合型選抜、一般選抜の具体的な評価方法は、どの教科においても、それぞれの問いの中で知識だけでなく思考力、判断力、表現力等を問うことを目的としています。

国語は、論説、随筆、評論等の長文を通し、文章全体を的確に読解する力や本文の論の展開を踏まえて説明する力等を求めています。また、四字熟語やことわざ等、漢字・語彙に関する知識も確認します。

数学は、数学に関する多様な基礎学力(論理性、計算力、数学的表現等)を総合的に評価します。基礎事項の理解を問うとともに、答えに至る過程、道筋の説明が適切な表現で解答されているかを確認します。

英語は、長文を読解し、全体の内容を把握する力を問うとともに、語彙や構文に関する英語の基礎力とそれらの応用力を確認します。また、会話文では慣用表現の知識と理解力を、和訳要約問題では読解力と文意の通る日本語表現力を、そして英作文問題では正しい英文で論理的な文章を書く力を確認します。

理科は、化学基礎・生物基礎の中の基本的な知識とともに重要な項目を統合的に理解することができるかを問います。単なる暗記ではなく、現象の理解と論理的な説明力を確認します。

Q

書類審査について説明してください。

A

高校から提出される調査書を点数化し、基礎力検査等の得点に加算します。学習成績の状況を3倍したものと、調査書等に記載されている学業や高校生活について点数化したものを合計し、書類点とします。具体的には資格検定では、英語の資格・検定試験(4技能)により、総合的な英語能力の評価を行います。内容は、英検準2級、GTEC690点以上など(CEFR「A2」レベル相当以上)に加点し評価します。また、部活動や生徒会、学級委員、ボランティア活動などで活躍していた人には加点し評価します。